

板角鋼引当システム

テスト手順書

1. 概要

本書は、板角鋼引当システムのテスト手順書である。

2. 環境

テストには、次の3つの環境を使用する。

環境 1 :

デスクトップ機のみ環境

O/S は、WindowsNT4.0、Windows95、Windows98 それぞれでテストを行う。

環境 2 :

WindowsCE 端末とデスクトップ機を使用する環境

環境 3 :

WindowsCE 端末のみ環境

3. テスト手順

3.1. TEST01-001

- テスト番号： TEST01-001
- テスト名： 起動 / 終了、初期状態の画面
- テスト仕様書
参照番号： 3.2.4.1-2-9、3.2.4.1-2-11、3.2.4.1-2-12、3.2.4.1-2-16、
3.2.4.1-2-19、3.2.4.1-2-22、3.2.4.1-2-26、3.2.4.1-2-29、
3.2.4.1-2-32、3.2.4.1-2-36、3.2.4.1-2-39、3.2.4.1-2-42、
3.2.4.1-2-43、3.2.4.1-2-44、3.2.4.1-2-46、3.2.4.1-2-51、
3.2.4.1-2-53、3.2.4.1-2-54、3.2.4.1-2-55、3.2.4.1-3、
3.2.4.1-4
- テスト環境： 環境 1
- テスト手順：
1. デスクトップソフトウェアを起動する
 2. ファイルメニューをクリックする
 3. 編集メニューをクリックする
 4. 表示メニューをクリックする
 5. 挿入メニューをクリックする
 6. ツールメニューをクリックする
 7. ヘルプメニューをクリックする
 8. 一覧でマウスの右ボタンをクリックする
 9. 表示 - ツールバーを選択する
 10. 表示 - ステータスバーを選択する
 11. 表示 - ツールバーを選択する
 12. 表示 - ステータスバーを選択する
 13. ヘルプ - トピックの検索コマンドを選択する
 14. ヘルプ - バージョン情報を選択する
 15. ファイル - 終了でプログラムを終了する
- 期待される結果：
1. ツールバーのうち「新規作成」「開く」「貼り付け」と「バージョン情報」のみがイネーブルになっていること
 2. 「新規作成」「開く」「過去に使用したファイル」「終了」のみがイネーブルになっていること
 3. 「貼り付け」のみがイネーブルになっていること
 4. 「並べ替え」がディセーブルになっていること
 5. 「商品コード」がイネーブルになっていること
 6. すべてディセーブルになっていること
 7. すべてイネーブルになっていること

8. 「追加」「貼り付け」のみイネーブルのポップアップメニューが表示されること
9. ツールバーが消えること
10. ステータスバーが消えること
11. ツールバーが再表示されること
12. ステータスバーが再表示されること
13. ヘルプが起動されること
14. バージョン情報が表示されること
15. プログラムが終了すること

備考：

3.2. TEST01-002

テスト番号：	TEST01-002
テスト名：	ダイアログの基本機能
テスト仕様書 参照番号：	3.2.4.1-2-34、3.2.4.1-2-37、3.2.4.1-2-45、3.2.4.1-2-49、 3.2.4.1-2-50、3.2.4.1.3-1、3.2.4.1.3-2-1、3.2.4.1.3-2-2、 3.2.4.1.3-2-3、3.2.4.1.3-2-4、3.2.4.1.3-2-5、 3.2.4.1.3-2-6、3.2.4.1.3-2-7、3.2.4.1.3-2-8、 3.2.4.1.3-2-9、3.2.4.1.4-1-2、3.2.4.1.7-1、3.2.4.1.7-2-1、 3.2.4.1.7-2-2、3.2.4.1.7-2-3、3.2.4.1.7-2-4、 3.2.4.1.7-2-5、3.2.4.1.7-2-6、3.2.4.1.7-2-7、 3.2.4.1.7-2-8、3.2.4.1.7-2-9、3.2.4.1.7-3-1、 3.2.4.1.7-3-2、3.2.4.1.8-4-3
テスト環境：	環境 1
テスト手順：	<ol style="list-style-type: none">1. 挿入 - 商品コードを選択する2. キャンセルボタンをクリックする3. 挿入 - 商品コードを選択する4. 各入力フィールドの動きをチェックする5. 正常なデータを入力し、連続追加ボタンをクリックする6. 追加ボタンをクリックする7. 編集 - 修正を選択する8. 一覧の商品コードを選択して編集 - 修正を選択する9. 各入力フィールドの動きをチェックする10. キャンセルボタンをクリックする11. 編集 - 検索を選択する12. 入力フィールドの動きをチェックする13. キャンセルボタンをクリックする14. 表示 - 並べ替えを選択する15. 各入力フィールドの動きをチェックする16. キャンセルボタンをクリックする17. ツール - HPC セットアップを選択する18. いいえを選択する19. 各入力フィールドの動きをチェックする20. 閉じるボタンをクリックする

21. 一覧のデータをすべて削除する

- 期待される結果：
1. 商品コード追加ダイアログが表示されること
 2. 商品コード追加ダイアログが閉じること
 - 3.
 4. 各入力フィールドの動きが正しいこと
 5. 商品コード追加ダイアログが閉じないでデータが一覧に追加されること
 6. 商品コード追加ダイアログが閉じてデータが一覧に追加されること
 7. 商品コード修正ダイアログが表示されないこと
 8. 商品コード修正ダイアログが表示されること
 9. 各入力フィールドの動きが正しいこと
 10. 商品コード修正ダイアログが閉じること
 11. 検索ダイアログが表示されること
 12. 各入力フィールドの動きが正しいこと
 13. 検索ダイアログが閉じること
 14. 並べ替えダイアログが表示されること
 15. 各入力フィールドの動きが正しいこと
 16. 並べ替えダイアログが閉じること
 17. 整合性チェックの督促ダイアログが表示されること
 18. HPC セットアップダイアログが表示されること
 19. 各入力フィールドの動きが正しいこと
 20. HPC セットアップダイアログが閉じること
 - 21.

備考：

3.3. TEST01-003

- テスト番号： TEST01-003
- テスト名： 新規データの作成と基本編集機能
- テスト仕様書
参照番号： 3.1-1、3.2.2.2-1、3.2.2.2-2、3.2.2.2-3、3.2.2.2-4、3.2.4.1-1、
3.2.4.1-2-14、3.2.4.1-2-15、3.2.4.1-2-17、3.2.4.1-2-18、
3.2.4.1-2-20、3.2.4.1-2-21、3.2.4.1-2-23、3.2.4.1-2-25、
3.2.4.1-2-27、3.2.4.1-2-28、3.2.4.1-2-30、3.2.4.1-2-31、
3.2.4.1-2-33、3.2.4.1-2-35、3.2.4.1-2-48、3.2.4.1-3、
3.2.4.1-4、3.2.4.1-5
- テスト環境： 環境 1
- テスト手順：
1. デスクトップソフトウェアを起動する
 2. 挿入 - 商品コードを選択する
 3. データを入力し、追加ボタンをクリックする
 4. メニューをすべて開き状態をチェックする
 5. ツールバーの切り取りボタンでデータを切り取る
 6. ツールバーの貼り付けボタンでデータを貼り付ける
 7. ツールバーのコピーボタンでデータをコピーする
 8. ツールバーの貼り付けボタンでデータを貼り付ける

9. 一方の商品コードをダブルクリックする
10. 商品コードを変更して修正ボタンをクリックする
11. 編集 - すべて選択コマンドを選択する
12. 編集 - 削除コマンドを選択する
13. ツールバーの元に戻すボタンをディセーブル状態になるまでクリックする
14. 2 から 13 の操作をすべて編集メニューコマンドを用いて行う
15. 2 から 13 の操作をすべてマウス右ボタンのポップアップメニューを用いて行う
16. 2 から 13 の操作をすべてショートカットキーを用いて行う

期待される結果：

- 1.
2. 商品コード追加ダイアログが表示されること
3. ダイアログボックス内の入力機能が正しく働くこと
一覧に追加したデータが表示されダイアログが閉じること
4. 編集 次を検索以外のメニューはすべてイネーブルになっていること
5. データが一覧から削除されること
メニューの状態が「元に戻す」以外は初期状態になること
6. 切り取ったデータが貼り付けられること
7. クリップボードにデータがコピーされること
8. 同一データが一覧に貼り付けられること
9. 商品コード修正ダイアログが表示されること
10. 一覧のデータが修正されていること
11. 一覧のデータがすべて選択されること
12. 一覧のデータがすべて削除されること
13. すべて元に戻した時点でメニューの状態が初期状態になること
14. ツールバーを用いたときと同様の結果が得られること
15. ツールバーを用いたときと同様の結果が得られること
16. ツールバーを用いたときと同様の結果が得られること

備考：

本テスト終了時はプログラムを終了しないこと

3.4. TEST01-004

- テスト番号：** TEST01-004
- テスト名：** ファイルの読み込みと保存
- テスト仕様書
参照番号：** 3.2.2.1-1、3.2.2.1-2、3.2.4.1-2-1、3.2.4.1-2-2、
3.2.4.1-2-3、3.2.4.1-2-4、3.2.4.1-2-5、3.2.4.1-2-6、
3.2.4.1-2-7、3.2.4.1-2-8、3.2.4.1-2-10、3.2.4.1.1-1、
3.2.4.1.2-1
- テスト環境：** 環境 1
- テスト手順：**
1. 挿入 - 商品コードを選択し、商品コードを挿入する
 2. ツールバーの新規作成ボタンをクリックする
 3. キャンセルをクリックする
 4. ツールバーの上書き保存ボタンをクリックする

5. ファイル名を指定してファイルを保存する
6. ツールバーの新規作成ボタンをクリックする
7. ツールバーの開くボタンをクリックする
8. 前回保存したファイルを開く
9. ファイル - 名前を付けて保存を選択する
10. 別の名前を付けてファイルを保存する
11. 挿入 - 商品コードを選択し、商品コードを挿入する
12. ツールバーの上書き保存ボタンをクリックする
13. 1 から 12 の操作をすべて編集メニューコマンドを用いて行う
14. 1 から 12 の操作をすべてショートカットキーを用いて行う

期待される結果：

- 1.
2. 保存の問い合わせのダイアログが表示されること
3. 一覧がクリアされないこと
4. ファイル保存ダイアログが表示されること
5. 商品コードデータファイルが作成されること
6. 一覧がクリアされること
7. ファイルの読み込みダイアログが表示されること
8. 一覧にファイルの内容が表示されること
9. ファイル保存ダイアログが表示されること
10. 別の名前でファイルが作成されること
- 11.
12. ダイアログが表示されず、ファイルが更新されること
13. ツールバーを用いたときと同様の結果が得られること
14. ツールバーを用いたときと同様の結果が得られること

備考：

3.5. TEST02-001

- テスト番号：** TEST02-001
- テスト名：** 編集機能
- テスト仕様書**
参照番号： 3.2.4.1-2-13、3.2.4.1-2-24、3.2.4.1-2-34、3.2.4.1-2-37、
3.2.4.1-2-38、3.2.4.1-2-40、3.2.4.1-2-41、3.2.4.1.3-2-2、
3.2.4.1.4-1
- テスト環境：** 環境 1
- テスト手順：**
1. ファイル - 開くを選択し、TestShouhin1.csv のファイルを開く
 2. 編集 - すべて選択を選択する
 3. 編集 - 修正を選択する
 4. キャンセルボタンをクリックする
 5. 一覧の商品コードを 1 つ選択する
 6. 挿入 - 商品コードを選択し商品コードを追加する
 7. 追加した商品コードを選択し、編集 - 切り取りを選択する
 8. 一覧の商品コードを 1 つ選択し、編集 - 貼り付けを選択する
 9. 選択を解除して編集 - 貼り付けを選択する
 10. 編集 - 検索を選択する

11. 追加した商品コードを指定して検索ボタンをクリックする
12. 編集 - 次を検索を選択する
13. 2 から 9 の操作をすべてショートカットキーを用いて行う
14. ファイル - 終了を選択する
15. キャンセルを選択する

期待される結果：

- 1.
- 2.
3. 鋼種のみ変更可能なダイアログが表示されること
4. 修正が行われないこと
- 5.
6. 一覧の最後に商品コードが追加されること
- 7.
8. 選択した商品コードの前に貼り付けられること
9. 一覧の最後に貼り付けられること
10. 検索ダイアログが表示されること
11. 商品コードが検索されること
検索された商品コードが選択状態になっていること
12. 貼り付けたもう一方の商品コードが検索されること
13. メニューコマンドと同一の結果が得られること
14. ファイル保存の問い合わせダイアログが表示されること
- 15.

備考：

3.6. TEST02-002

- テスト番号： TEST02-002
- テスト名： 表示機能
- テスト仕様書
参照番号： 3.2.4.1.2-45、3.2.4.1.2-47、3.2.4.1.5-1、3.2.4.1.5-2、
3.2.4.1.5-3-1、3.2.4.1.5-3-2、3.2.4.1.6-1、3.2.4.1.6-2
- テスト環境： 環境 1
- テスト手順：
1. ファイル - 開くを選択し、TestShouhin2.csv のファイルを開く
 2. 表示 - フォントを選択する
 3. キャンセルボタンをクリックする
 4. 表示 - フォントを選択する
 5. フォントを変更し、OK ボタンをクリックする
 6. 表示 - 並べ替えを選択する
 7. キャンセルボタンをクリックする
 8. 一覧の先頭の商品コードを削除する
 9. 表示 - 並べ替えを選択する
 10. 商品コードを降順に指定して並べ替えボタンをクリックする
 11. さまざまなパターンで並べ替えを試みる

期待される結果：

- 1.
2. フォントダイアログが表示されること

3. フォントダイアログが閉じること
 - 4.
 5. 一覧の表示フォントが変更されること
 6. 並べ替えダイアログが表示されること
 7. 並べ替えが行われないこと
 - 8.
 - 9.
 10. 並べ替えが行われること
- 編集 - 元に戻すの機能がディセーブルになること
11. 指定したとおりに並べ替えが行われること

備考：

3.7. TEST02-003

- テスト番号： TEST02-003
テスト名： 他のソフトウェアとの連携
テスト仕様書
 参照番号：
テスト環境： 環境 1
テスト手順：
1. ファイル - 開くを選択し、TestShouhin2.csv のファイルを開く
 2. 編集 - すべて選択を選択する
 3. 編集 - 切り取りを選択する
 4. Excel を起動する
 5. 編集 - 貼り付けを選択する
 6. Excel 上でデータを追加する
 7. シート全体を選択し、編集 - コピーを選択する
 8. 鋼材電卓で編集 - 貼り付けを選択する

- 期待される結果：
- 1.
 - 2.
 - 3.
 - 4.
 5. 一覧のデータが Excel のワークシートに貼り付けられること
 - 6.
 - 7.
 8. 一覧に Excel で編集したデータも貼り付けられること

備考：

3.8. TEST02-004

- テスト番号： TEST02-004
テスト名： WindowsCE 端末の設定
テスト仕様書 2-1、2-4、3.1-2、3.1-3、3.1.3-1、3.2.2.3-1-1、3.2.2.3-1-2、

参照番号： 3.2.2.3-1-3、3.2.2.3-2、3.2.4.1.2-52、3.2.4.1.8-1、
3.2.4.1.8-2、3.2.4.1.8-3、3.2.4.1.8-4-1、3.2.4.1.8-4-2、
3.2.4.1.8-4-3

テスト環境： 環境 2

テスト手順：

1. ファイル - 開くを選択し、TestShouhin1.csv のファイルを開く
2. 一覧の中のいずれかのデータを選択コピーし貼り付ける
3. ツール - 整合性チェックを選択する
4. 重複データの商品コードを重複しないものに変更する
5. ツール - HPC セットアップを選択する
6. はいを選択する
7. 閉じるを選択する
8. 材料データの重なりを修正し、ツール - 整合性チェックを選択する
9. ツール - HPC セットアップを選択する
10. 開始ボタンをクリックする
11. 中止ボタンをクリックする
12. 閉じるボタンをクリックする
13. ツール - HPC セットアップを選択する
14. 開始ボタンを選択する
15. データ転送が完了した後、プログラムの入替えチェックボックスを選択して開始ボタンを選択する
16. データ転送が完了した後、HPC 上で鋼材電卓を起動し、一覧の表示幅、パラメータ設定、デフォルト値を変更しプログラムを終了する
17. HPC 上で鋼材電卓を起動し、変更したデータを確認する
18. レジストリの削除チェックボックスを選択して開始ボタンを選択する
19. データ転送が完了した後、HPC 上で鋼材電卓を起動し、変更したデータを確認する
20. 閉じるボタンをクリックする
21. ファイル - 終了をクリックする

期待される結果：

- 1.
- 2.
3. 商品コードの重なりエラーが表示されること
4. HPC セットアップダイアログが表示されること
5. 整合性チェックの督促ダイアログが表示されること
6. 材料データの重なりエラーが表示されること
- 7.
8. 整合性チェックが完了すること
9. 整合性チェックの督促ダイアログが表示されないこと
10. 開始ボタンがディセーブルになり中止ボタンがイネーブルになること

セットアップの進行がダイアログ上の一覧に表示されること

11. セットアップ処理が中止できること
- 12.
13. HPC セットアップダイアログが表示されること
14. セットアップが完了したときにダイアログ上のボタンの状態が初期状態に復帰すること

15. HPC のデスクトップ上に鋼材電卓のアイコンが作成されること
- 16.
17. 変更したデータが保存されていること
- 18.
19. 保存したデータが削除されていること
- 20.
- 21.

備考：

3.9. TEST03-001

- テスト番号： TEST03-001
- テスト名： HPC ソフトウェアの基本動作
- テスト仕様書
参照番号： 3.2.4.2-1、3.2.4.2.1-1、3.2.4.2.1-2、3.2.4.2.1-3、
3.2.4.2.1-4、3.2.4.2.2-3-3、3.2.4.2.3-5-3、3.2.4.2.4-2-2
- テスト環境： 環境 3
- テスト手順：
1. デスクトップ上の鋼材電卓のショートカットをダブルタップし、プログラムを起動する
 2. 製品情報入力ボタンをタップする
 3. 戻るボタンをタップする
 4. パラメータ設定ボタンをタップする
 5. 戻るボタンをタップする
 6. デフォルト設定ボタンをタップする
 7. 戻るボタンをタップする
 8. バージョン情報ボタンをタップする
 9. OK ボタンをタップする
 10. 終了ボタンをタップする

- 期待される結果：
1. プログラムが起動されること
 2. 製品情報入力画面が表示されること
 3. メイン画面に復帰すること
 4. パラメータ設定画面が表示されること
 5. メイン画面に復帰すること
 6. デフォルト設定画面が表示されること
 7. メイン画面に復帰すること
 8. バージョン情報ダイアログが表示されること
 9. メイン画面に復帰すること
 10. プログラムが終了すること

備考：

3.10. TEST03-002

- テスト番号： TEST03-002

テスト名：	デフォルト設定
テスト仕様書 参照番号：	3.2.4.2.4-1-1、3.2.4.2.4-1-2、3.2.4.2.4-2-1、3.2.4.2.4-1-2
テスト環境：	環境 3
テスト手順：	<ol style="list-style-type: none"> 1. デスクトップ上の鋼材電卓のショートカットをダブルタップし、プログラムを起動する 2. デフォルト設定ボタンをタップする 3. 各入力フィールドの動作を確認する 4. 加工しろ、回転をそれぞれ設定する 5. 実行ボタンをタップする 6. 製品情報入力ボタンをタップする 7. 戻るボタンをタップする 8. 終了ボタンをタップする 9. プログラムを再起動し製品情報入力をタップする 10. 戻るボタンをタップする
期待される結果：	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. 各入力フィールドの動きが正しいこと 4. 5. 6. デフォルト値の設定が製品情報入力画面に反映されること 7. 8. 9. デフォルト値の変更が保存されていること 10.

備考：

3.11. TEST03-003

テスト番号：	TEST03-003
テスト名：	製品情報入力画面の基本機能
テスト仕様書 参照番号：	3.1-4、3.2.2.5-1、3.2.4.2.2-1-1、3.2.4.2.2-1-2、 3.2.4.2.2-1-3、3.2.4.2.2-1-4、3.2.4.2.2-1-5、 3.2.4.2.2-1-6、3.2.4.2.2-1-8、3.2.4.2.2-3-1、 3.2.4.2.2-3-2、3.2.4.2.2-3-4、3.2.4.2.4-1-2
テスト環境：	環境 3
テスト手順：	<ol style="list-style-type: none"> 1. 製品情報入力ボタンをタップする 2. 引当ボタンをタップする 3. 各フィールドにキーボード及び画面上のテンキーを用いて入力を試みる 4. 鋼種 SKD11、厚み 50、幅 75、長さ 2000、個数 1 で引当を行う 5. 製品情報入力ボタンをタップする 6. 厚みを 60 に変更する 7. 戻るボタンをタップする

8. 製品情報入力ボタンをタップする
9. クリアボタンをタップする
10. 戻るボタンをタップする

期待される結果：

- 1.
2. エラーが表示されること
3. 各入力フィールドの動きが正しいこと
鋼種以外は数値以外の入力ができないこと
4. 引き当てが行われること
5. 製品情報が設定されて製品情報入力画面が表示されること
- 6.
- 7.
8. 厚みが 50 に戻った状態で製品情報一覧画面が表示されること
9. 入力内容がクリアされること
- 10.

備考：

3.12. TEST03-004

- テスト番号：** TEST03-004
- テスト名：** パラメータ設定画面の基本機能
- テスト仕様書**
参照番号： 3.2.2.4-1、3.2.3.3-1、3.2.4.2.3-1-1、3.2.4.2.3-1-2、
3.2.4.2.3-1-3、3.2.4.2.3-3、3.2.4.2.3-4、3.2.4.2.3-5-1
- テスト環境：** 環境 3
- テスト手順：**
1. パラメータ設定ボタンをタップする
 2. 一覧のパラメータを選択する
 3. 値を設定し、実行ボタンをタップする
 4. パラメータ設定ボタンをタップする
 5. 一覧のパラメータを選択する
 6. 値を設定し、設定ボタンをタップする
 7. 戻るボタンをタップする
 8. パラメータ設定ボタンをタップする
 9. 寸法公差を選択し値を 0 に設定する
 10. 設定ボタンをタップする
 11. 切断機クランプ長を選択し値を 30 に設定する
 12. 設定ボタンをタップする
 13. 実行ボタンをタップする
 14. パラメータ設定ボタンをタップする
 15. 戻るボタンをタップする

期待される結果：

1. 一覧に表示されるパラメータが機能仕様書の記述と一致していること
- 2.
- 3.
4. 再度表示した一覧でパラメータが設定されていないこと

- 5.
6. 一覧の設定値が変更されること
- 7.
8. 再度表示した一覧でパラメータの値が元に戻っていること
- 9.
10. 一覧の設定値が変更されること
- 11.
12. 一覧の設定値が変更されること
- 13.
14. 一覧で設定した値が表示されること
- 15.

備考：

3.13. TEST04-001

- テスト番号： TEST04-001
テスト名： 引当 - 回転しての引当のテスト
テスト仕様書 参照番号： 3.2.4.2.2-2
テスト環境： 環境 3
テスト手順：
1. デフォルト値設定で回転ありに設定する
 2. 鋼種 SKD11、厚み 50、幅 75、長さ 2000、個数 2 で引当を行う
 3. 厚み 75、幅 50、長さ 2000 に変更して引当を行う
 4. 厚み 50、幅 2000、長さ 75 に変更して引当を行う
 5. 厚み 75、幅 2000、長さ 50 に変更して引当を行う
 6. 厚み 2000、幅 75、長さ 50 に変更して引当を行う
 7. 厚み 2000、幅 50、長さ 75 に変更して引当を行う
 8. 2~7 の手順を回転無しで行う

- 期待される結果：
- 1.
 2. 50x75 の材料が回転無しで引き当てられること
 3. 材料が引き当てられないこと
 4. 50x75 の材料が回転 1 で引き当てられること
 5. 材料が引き当てられないこと
 6. 50x75 の材料が回転 2 で引き当てられること
 7. 材料が引き当てられないこと
 8. 2 の時のみ引き当てられること

備考：

3.14. TEST04-002

- テスト番号： TEST04-002
テスト名： 引当 - 複数の引当パターン

テスト仕様書 3.2.2.6-1-1、3.2.2.6-1-2、3.2.2.6-1-3、3.2.2.6-1-4、
参照番号： 3.2.2.6-2、3.2.4.2.1-1-1、3.2.4.2.1-1-2、3.2.4.2.1-1-3、
3.2.4.2.1-1-4、3.2.4.2.1-1-5、3.2.4.2.1-1-6、
3.2.4.2.1-1-7、3.2.4.2.1-1-8、3.2.4.2.1-1-9、
3.2.4.2.1-1-10、3.2.4.2.1-1-11

テスト環境： 環境 3
テスト手順： 1. 鋼種 SKD11、厚み 50、幅 75、長さ 100、個数 2 で引当を行う

期待される結果： 1. 表示される引当結果のデータが正しいこと

備考：

3.15. TEST04-003

テスト番号： TEST04-003
テスト名： 引当 - パラメータ変更による引当結果の変化
テスト仕様書 3.2.4.2.3-1
参照番号：
テスト環境： 環境 3
テスト手順： 1. 鋼種 SKD11、厚み 50、幅 75、長さ 100、個数 2 で引当を行う
2. 引当パラメータを変更して引当を行う

期待される結果： 1. 表示される引当結果のデータが正しいこと
2. 引当結果がパラメータの変更に応じて正しく変化すること

備考：

3.16. TEST05-001

テスト番号： TEST05-001
テスト名： サポート O/S の検証
テスト仕様書 2-2、2-3
参照番号：
テスト環境： 環境 2
テスト手順： 1. ホストが Windows95 の環境で TEST02-005 を行う
2. ホストが Windows98 の環境で TEST02-005 を行う

期待される結果： 1. すべての機能が動作すること
2. すべての機能が動作すること

備考：

テスト結果

実施日：1999年4月1日

担当者：蔦木克彦

テスト番号	結果	備考
TEST01-001	OK	貼り付けがディセーブルになっていたが、クリップボードの状態によるものと思われる。
TEST01-002	OK	
TEST01-003	NG	手順8の貼り付け時に一覧のデータが選択されていると手順9で画面上では選択データに上書きしたような動きになるが、アンドゥを行うと、データの件数が3件になることがある。
TEST01-004	OK	
TEST02-001	NG	2つ目の同一商品コードを検索したときに最初に検索した商品コードの選択が解除されない。
TEST02-002	OK	
TEST02-003	OK	
TEST02-004	OK	
TEST03-001	OK	
TEST03-002	NG	デフォルト値の加工しろ入力で数値以外の文字も入力できてしまう。デフォルト設定したものが製品情報入力画面に反映されない。
TEST03-003	NG	数値入力のフィールドでデータ入力中に鋼種を選択してその後テンキーで入力すると元のフィールドに値が入ってしまい操作が分かりにくい。 クリアでデフォルト値が反映された。
TEST03-004	OK	
TEST04-001	OK	
TEST04-002	OK	
TEST04-003		
TEST05-001		

テスト結果

実施日：1999年4月2日

担当者：蔦木克彦

テスト番号	結果	備考
TEST01-001	OK	貼り付けがディセーブルになっていたが、クリップボードの状態によるものと思われる。
TEST01-002	OK	
TEST01-003	OK	
TEST01-004	OK	
TEST02-001	OK	
TEST02-002	OK	
TEST02-003	OK	
TEST02-004	NG	プログラムコピー時に ReadFile エラーで停止してしまった。NT を再起動したらコピーができた。
TEST03-001	OK	
TEST03-002	OK	
TEST03-003	OK	
TEST03-004	OK	
TEST04-001	OK	
TEST04-002	OK	
TEST04-003		
TEST05-001		

テスト結果

実施日：1999年4月3日

担当者：蔦木克彦

テスト番号	結果	備考
TEST01-001	OK	
TEST01-002	OK	
TEST01-003	OK	
TEST01-004	OK	
TEST02-001	OK	
TEST02-002	OK	
TEST02-003	OK	
TEST02-004	OK	
TEST03-001	OK	
TEST03-002	OK	
TEST03-003	OK	
TEST03-004	OK	
TEST04-001	OK	
TEST04-002		CE2.11 で誤差寸法に表示される数値が浮動小数点を整数として扱ったような数字が表示されることがあるが、CE2.0 で動かすとそのような現象は確認されない。
TEST04-003		
TEST05-001	OK	